

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		工作教室				所管	教育委員会 生涯学習課	
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標]						
		[小 柱]						
		[施 策]						
	根拠法令等	その他		[法令等名]	なし			
	事業対象	区内在住か在学の5歳から小学4年生まで						
	事業目的	子どもたちがものを創る体験を通じて、自分で工夫する楽しさや完成させることの充実感を得ることにより子どもたちの創造活動の推進を図る。						
	事業内容	会場 生涯学習センター「創造の部屋」 回数 11月・3月を除き月に1回、年間10回 定員 各回20名（幼児は、親子で参加）						
委託の有無	なし	委託内容	なし					
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	開催数 (回)		10	12	12	10	
	成果指標	延べ参加者数 (人)		180	183	180	165	
	決算額 (単位：千円)				365	416	374	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト（人件費など）			1,800	1,666	1,704	
		物にかかるコスト（物件費・維持補修費）			101	137	125	
		その他のコスト（扶助費・補助費など）			265	280	250	
		総経費			2,166	2,083	2,079	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額（使用料・手数料・負担金など）			59	56	50	
その他特定財源（国や都の支出金・財産収入など）			0	0	0			
一般財源（区負担額）			2,107	2,027	2,029			
前年度から改善した事項		教材・材料に改良を加え、時間内に完成度の高いものができるように工夫した。						
評価の視点		評価	評価の理由					
	必要性	3	児童が学校の授業ではなかなか時間をかけられない「ものづくり」を体験できる。また、幼児は親子で「ものづくり」を楽しむことができる。					
	効率性	3	工具や機械が整っている生涯学習センターの創造の部屋を活用している。また、制作品の材料を身近な材料を利用する工夫等で経費削減に努めている。					
	手段の適切性	3	地域協力者や教員OBなど一定の技術を持った指導員が、子どもたちの指導にあたっており、適切に事業執行がなされている。					
	目的達成度	2	保護者の参加も多く、参加者からは「楽しかった」「また参加したい」と好評である。何度も参加する児童も多いが、時期や内容等で定員を割ることもある。					
[評価の理由]（区民生活への影響を十分考慮すること）					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
工作教室を経験した児童が「発明クラブ」へ入会するなど、子どもの創造性を育み、ものづくりへの関心が高められている。						維持		